

予約型乗合タクシーの見直しに向けた方向性について

1. 現在の動き等

令和3年度に策定した葛城市地域公共交通計画では、3つの目標を掲げており、その中の一つの目標である「自動車に頼らなくても、安全で安心して通院や買い物に利用できる公共交通」の実現に向け、予約型乗合タクシーのE. 笛堂・薑ルート及びF. 笛吹・梅室ルートの運行内容の見直しに向けて取り組むこととしている。

現在、利用が低調となっている予約型乗合タクシーのE. 笛堂・薑ルート及びF. 笛吹・梅室ルートの利便性向上に向けて、新たな運行方法などへの見直しに向けた検討をしているところであり、デマンド交通等への地元住民のニーズ把握を目的として、令和6年1月に住民アンケート調査を実施した。

アンケート調査の問1:利用意向や問2⑧:評価等の結果より、地域住民から運行内容変更に対する承諾を概ね得られたことで、新たな運行方法での実証実験の実施に向けた取組を進めていく。

【実証実験に向けた方向性】

住民アンケートで“案”として提示した運行イメージを、実証実験の方向性とする。

ただし、実証実験の実施方法、時期、乗降場所ならびに運行時間については、沿線住民、交通事業者、道路管理者などの関係者との協議を行い、正式に決定するものとする。実証実験後は、実証実験結果や評価結果を踏まえ、本協議会において、新たな運行方法の導入についてあらためて協議を行う。

なお、実証実験の結果や関係者との協議の結果によっては、現在の運行方法により運行を継続することもあり得る。

住民アンケート調査で“案”として示した運行イメージ

項目	現在	今後の変更案
運行時間帯	10時～17時まで	9時～17時まで
運行ダイヤ (運行便)	時刻表が決まっている	予約の際に希望する出発時刻を指定できる ※他の利用者と乗り合うため、ご希望の時刻を予約できないこともある。
運行ルート	運行ルートは決まっている	予約の際に希望する乗降場所を指定し、その間を運行する ※他の利用者と乗り合うため、予約のあった全ての乗降場所を経由する。 主に大和高田バイパスより南の市域を運行する。
運行エリア	E 笛堂・薑ルート F 笛吹・梅室ルート	
運賃	大人1日100円 (令和5年度は無料運行)	現在よりも値上げする

2. 今後の予定

令和6年度前半～	・ 葛城市予約型乗合タクシーの新たな運行方法の実証実験に関する運行案の提示・協議
令和6年度後半 ～令和7年度	・ 葛城市予約型乗合タクシーの新たな運行方法の実証実験の実施
実証実験実施後 (令和7年度以降)	・ 実証実験の効果検証、新たな運行方法の課題の整理 ・ 葛城市地域公共交通活性化協議会において運行の見直し、又は継続について協議を実施

※なお、運行の見直しを実施するとなった場合において、正式導入に向けた日程については、別途関係者との協議の上、調整を行うものとする。

3. 実証実験に向けての主な課題

①タクシー事業者やバス事業者など、地域の交通事業者との調整や既存の公共交通に与える影響の精査

新たな運行方法の導入は、タクシー事業やバス事業に大きな影響を与えることも考えられることから、実施にあたっては各事業者との連絡・調整を密にするとともに、継続的に導入していく場合の影響についても調査を行うものとする。

②乗降場所に関する地元や商業施設等との調整

新たな運行方法の“案”として示したミーティングポイント型のデマンド交通（乗降場所は決まっているが、運行ルートは利用状況に応じて変わる方式）については、乗降場所の位置や間隔によって利用状況が大きく変わることから、地元や関係者等と十分に調整を行う。ただし、新たな運行方法は、ドアツードア型のサービスを目指すものではないことから、地元や関係者の意見も十分に踏まえつつも、ドアツードアで個別輸送を担うタクシー事業とのすみ分けを図るものとする。

③システム導入にかかる費用、事業者及び利用者の習熟

より効率的な運行を目指す観点からはAIデマンドシステムの導入も考えられ、アンケート調査の結果では多くの方がスマートフォンを利用していることから、アプリ予約可能なAIデマンドシステムの導入についても検討していく。なお、システムの導入にあたっては導入費用、運用費用の問題や、運行事業者及び利用者への周知や理解を深めるための取組、十分に利用していただけるための環境づくりについても検討する。

④公共交通のさらなる利用促進策の検討・実施

今回の見直しは、予約型乗合タクシーのE、笛堂・萱ルート及びF、笛吹・梅室ルートの運行地域が対象である。しかし、地域の公共交通を維持していくためには、予約型乗合タクシーだけでなく、鉄道、路線バス及びタクシーについても利用を促し、利用者を増加・維持していく必要がある。そのため、市全体の地域公共交通の利用促進策についても、継続して、検討・実施を進める。